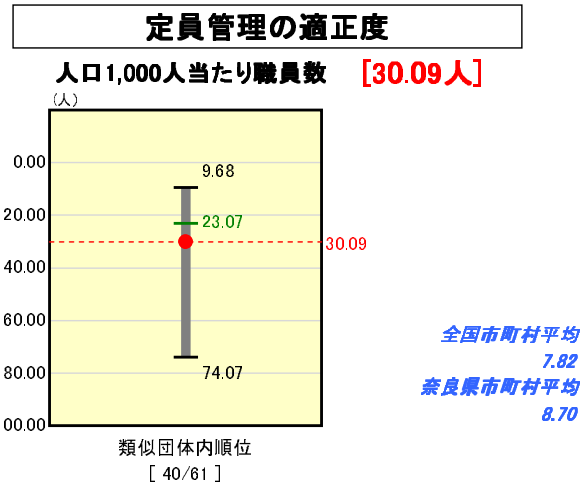
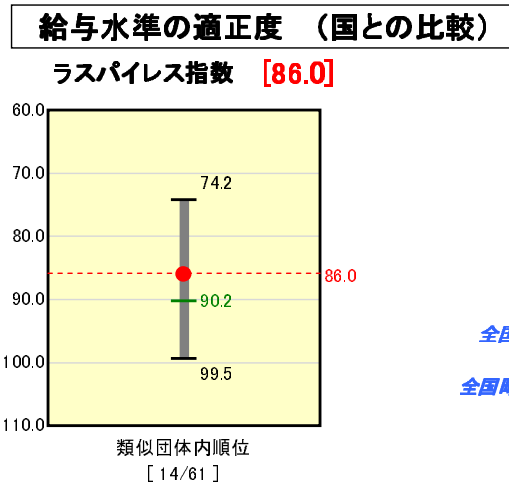
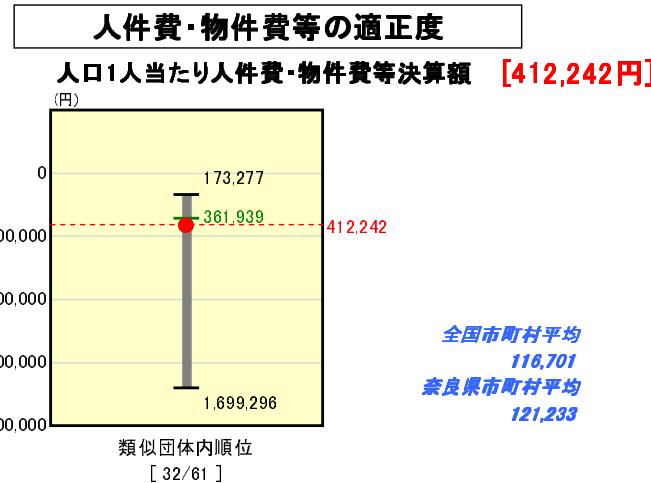
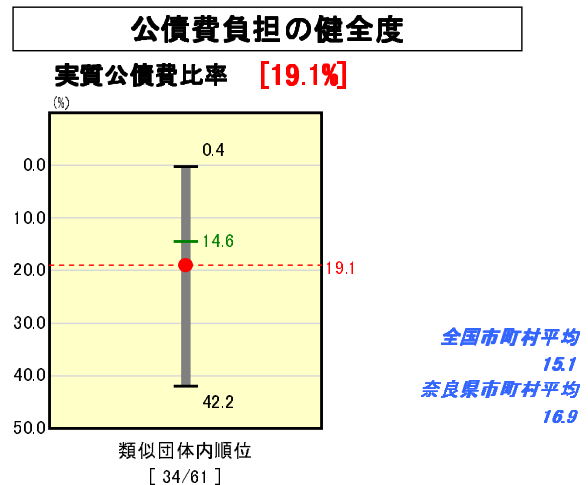
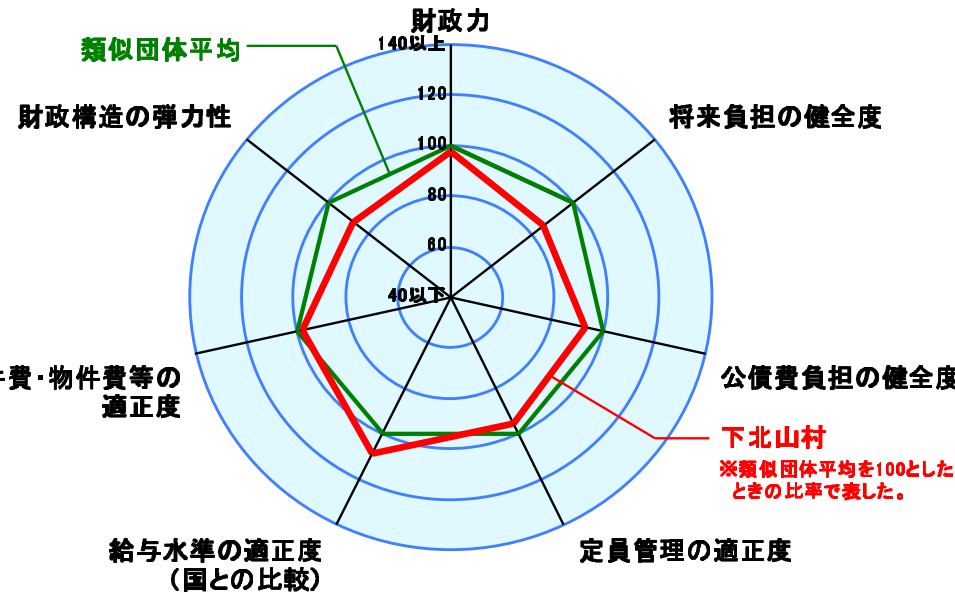
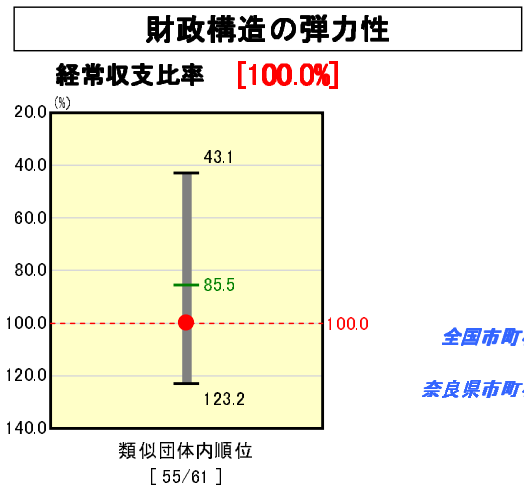
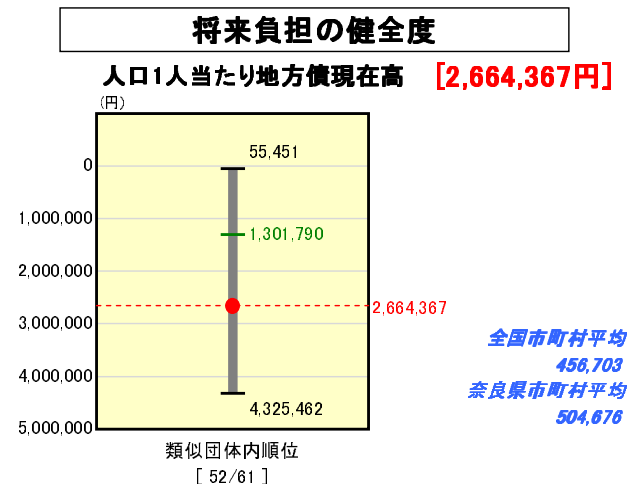
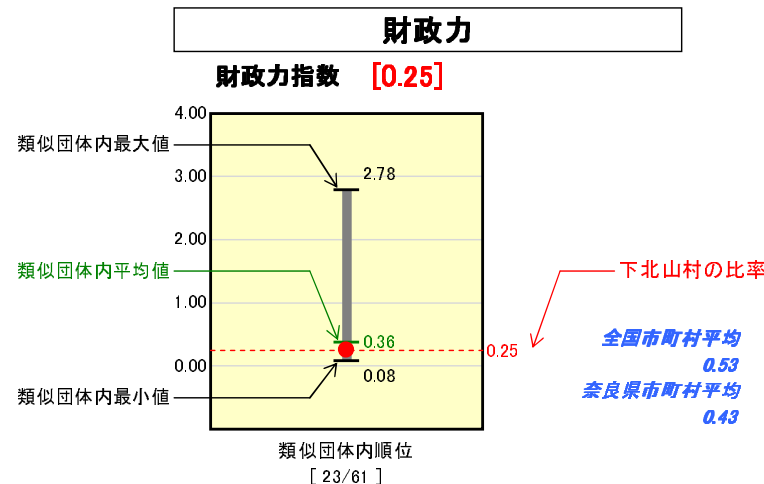


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 奈良県 下北山村

人口	1,296	人(H19.3.31現在)
面積	133.53	km <sup>2</sup>
歳入総額	1,901,954	千円
歳出総額	1,866,979	千円
実質収支	32,475	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 人口の減少や高齢化率に加え、村の産業といえる林業の低迷により財政基盤が弱い。歳出の徹底的な見直しに努め、財政の健全化を図ります。

**経常収支比率:** 公債費の増加等により比率は年々増加しております。今後は繰上償還の実施、物件費の抑制に努めます。

**ラスパイレース指数:** 県内の町村では低い基準であります。

**実質公債費比率:** 普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い、類似団体の平均をやや上回っている。今後は起債借入上限額を1億円以内とし、比率の抑制に努めます。

**人口1人当たり地方債現在高:** 類似団体の平均を上回っている。主な要因として不動トンネルの整備事業等があるが、新規地方債の発行の抑制等により、今後は類似団体の平均に近づくように努めます。

**人口1,000人当たり職員数:** 定年退職者については、臨時職員等の移行により不補充とし、新規採用はしていません。勤奨制度も取り入れます。

**人口1人当たりの人件費・物件費等決算額:** 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体の平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっています。今後はコストの低減と適切な定員管理に努めます。